

## ■5 社会貢献に関する事項

本学における社会貢献活動は「地域に開かれた大学」を理念として掲げ、大学の保有する資源を地域に還元するのみでなく、地域の人材や資源を大学の教育や研究に活用した上で、その成果をさらに地域に還元することを目的としている。

RECにおける具体的な取り組みとしては、市民を対象とした生涯学習事業、地域社会や企業との連携による産官学連携事業、大学の施設・設備を地域へ提供する施設開放事業、学生の起業家精神を支援する学生ベンチャー育成事業、地域社会の福祉に貢献することを目的とした福祉フォーラム事業等の社会貢献活動を展開している。

2012年度においては、REC設立20周年を終えた後の、新たな10年を地域社会とともに築くための契機之年として、①RECの独自性とポテンシャルの追求、②潜在的ニーズの掘り起こしとその顕在化、③ステークホルダーに対する満足度向上の3点を、RECの各種事業を具体的に展開していくための取り組み方針として掲げる。特に、学外のみならず知的財産センター、研究部といった学内他組織との連携も強固にしながら、REC事業を積極的に推進していく。

### 1 生涯学習事業の展開

#### ●公開講座「RECコミュニティカレッジ」を開講

仏教や文化・歴史、文学などをはじめとし、本学の研究成果を生かした講座を年間約440講座開講する。また、受講生満足度の向上や新規受講の促進のために特別講演会(年3回)を開催する。

#### ●大阪及び東京での事業展開

本学の認知度向上をめざし、東京では2012年度前期に「親鸞と浄土教」をテーマに講座を展開するほか、明治大学との連携講座を実施する。大阪では大阪梅田キャンパスでの平日夜間や土曜日の講座を設けることでビジネスマンなど新たな受講者層にも受講しやすい講座を開講する。

#### ●次世代教育への積極的な関与

「龍谷ジュニアキャンパス」では、本学の重点・強化サークルに所属する学生が、子ども達と接する取り組みを推進するとともに、保護者の本学に対する認知度の向上を図る。また、大津商工会議所や大津市と連携した「夏休み子ども理科実験・工作教室」を開講することで、地域への教育活動にも積極的に取り組んでいく。

#### ●地域社会との交流

伏見区との連携である「伏見連続講座」や企業のCSR活動と連携した「パナソニック提供 龍谷講座in大阪」を開講することで、地域社会との積極的な交流を図る。

### 2 産官学連携事業の展開

#### ●産官学連携における重点地域等の設定

湖南地域における産官学連携事業を積極的に推進すべ

く、大津市を最重点地域として設定する。また、京都市、大阪市、東大阪市を重点地域とし、経済団体や金融機関、他大学と連携して、各地域の特長を活かしたREC事業を展開する。

#### ●外部資金の導入・獲得

学内各組織の研究シーズに関する情報を共有しながら、産業界への情報発信を積極的に推進し、競争的資金の獲得率向上に努める。展示会や各種シーズ発表会等においても情報発信に努め、技術相談や受託研究等から新たな研究会やプロジェクトへの発展をめざす。

#### ●REC BIZ-NET (RECビジネスネットワーククラブ)

会員数のさらなる増加をめざし、金融機関や地域の経済団体等とも積極的に連携して研究会等を開催する。その中から、会員をコアとした個別研究会を設置し、研究開発に係る連携事業の創出につなげる。また、主に技術者を対象としたリカレント講座も引き続き実施する。

#### ●経営者ビジネスミーティング

卒業生が経営する企業と本学、企業と企業の連携を促進し、連携事業の創出や分科会の形成へと発展させる。定期的な情報交換・提供、技術相談等を実施し、卒業生ネットワークを強化する。

#### ●社文系産学連携の推進

産業界や行政と連携したリカレント講座を継続して開講し、ニーズに対応した人材育成・人材確保に向けた取り組みの支援をおこなう。併せて、地域社会との連携強化を図り、新たな人材育成プログラムの開発も積極的に検討する。

### 3 施設開放の展開

#### ●レンタルラボ入居企業の支援・育成の強化

本学レンタルラボは、本学教員と入居企業が日常的に密に接触できる研究環境を整備している。この特徴を最大限に活かすとともに、IM(インキュベーション・マネージャー)による技術面や経営面における支援を充実させ、入居企業の支援・育成強化を推進する。

#### ●実験設備機器の再整備及び産学共同プロジェクト実験室の設置

RECホール内の実験設備・機器における利用状況や老朽化等を精査し、再整備をおこなう。また、実験室の再編により、外部資金獲得等による産学共同プロジェクト専用の新たな実験室を配置し、産官学連携の研究やプロジェクト推進のために開放する。

#### ●講義室・会議室の開放

生涯学習講座や経済団体による会議・イベント利用を目的として、RECホール・紫光館・大阪梅田キャンパスの講義室や会議室を、広く地域・社会に開放する。また、従来に引き続き、コミュニティカレッジ受講生を対象に、RECホール内の無料託児室を設ける。

#### 4 学生ベンチャー育成事業の展開

- 大学発学生ベンチャーの育成

起業マインドを持った学生の発掘及び大学発学生ベンチャー育成を目的に、「教育事業」「イベント事業」「起業支援」の3テーマで学生ベンチャー育成事業を展開する。

- 教育事業としてのプログラムの開設

起業家における必要な知識やプレゼンテーションスキルの修得をめざすプログラム(5月～8月の間に講座を10回)を開設する。講座の内容は、本学教員による専門講義に加え、経営実務者を講師として招き、学生との討論を交えることで実践的な人材の養成をめざす。

- イベント事業「プレゼン龍」の実施

教育プログラムで得た成果を発表する場として、本学学生によるビジネスプランコンテスト「プレゼン龍(ドラゴン)」を12月に開催する。また、早期のベンチャーへの意識付けとして実施している「高校生アイデアコンテスト」も高大連携に関する取り組みとして実施する。

- 起業支援

起業相談に応じて創業準備ブースの提供等の支援をおこなう。また、商工会議所や金融機関など産業界とのネットワークを生かし、起業に向けてのサポートをおこなっていく。

#### 5 福祉フォーラムの展開

福祉フォーラムは社会情勢の不安定化、人々のつながりの希薄化が進む現代社会において龍谷大学ならではの社会貢献活動として以下の項目を実施する。

- 関係機関との連携強化

常に地域社会を主役に置き、行政や社会福祉現場で働く専門職、NPO団体の関係者との関係をさらに強化しながら本事業を推進していく。

- 「福祉フォーラム2012」「共生塾」の開催

地域住民の福祉啓蒙活動を担う「福祉フォーラム2012」と「共生塾」については、社会の動きにあわせた内容で「福祉フォーラム」を秋に1回、「共生塾」を年2シリーズ程度開催する。

- 「専門セミナー」の開催

福祉専門職を対象に「専門セミナー」を実施する。独自の研修を実施しにくい福祉現場からの要望に応え、本学教員のみならず現場で働くスペシャリストを招いての講座や調査等のスキルを学ぶ実践講座などを開催する。

#### 6 知的財産に関する取り組み

- 知的財産活動の推進者への取り組み

2010年度から発明意欲の促進と研究開発の加速化を支援するために発明奨励費(発明新人奨励費および発明功労奨励費)を設置した。引き続き2012年度も知的財産活動を推進した研究者を対象に付与する。

- 知的財産セミナーの実施

発明の発掘や啓発活動の一つとして2012年度も引き続き、知的財産セミナーを実施する。同セミナーを瀬田学舎のみならず深草学舎でも実施することで、全学的な知的財産活動を展開する。また、同セミナーは公開講座として位置付けていることから、学内(教職員・学生等)のみならず学外(企業等)への広報にも努める。

- 特許出願(審査請求含む)

社会に還元される発明の特許出願をめざすとともに、既出願案件の審査請求も滞りなく進める。また、拒絶通知への対応は、顧問弁理士事務所及び顧問弁護士事務所と相談の上、権利確定をめざす。案件によっては外国での出願・審査請求も実施する。

- 技術移転の活動

REC等と連携を図りながら技術移転に関する案件に速やかに対応するとともに、技術移転機関との新たな展開を模索・検討する。また、特許庁、発明協会及び科学技術振興機構(JST)等の諸機関との関係を維持していくことにも努め、新技術説明会(JST主催)や各種出展等に積極的に参加し技術移転先の開拓を図る。

